

要請番号 (JL47520A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チュニジア	G130 柔道		個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青少年・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

チュニジア柔道連盟スファックス支部

3) 任地 (スファックス県スファックス市) JICA事務所の所在地 (チュニス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

チュニジア柔道連盟は1965年、青少年・スポーツ省管轄下に創立され、国際大会への選手派遣、国内大会、強化合宿、コーチ研修、審判研修、昇段審査の実施及び柔道の振興、発展に努めている。現在、全国に175の柔道クラブがあり、主要6都市に地方支部がある。
これまでJICAボランティアの派遣実績は7名。国際交流基金、日本柔道連盟等を通じて、数多くの日本人柔道家が、ナショナルチーム、地方支部の選手強化、指導技術の向上、柔道の振興に協力してきた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国において柔道は1947年より始まり、サッカー、ハンドボールに次ぎ人気のあるスポーツである。ナショナルチームは、近年多くの強化選手を国際大会に輩出しており、アフリカにおいては最上位のレベルにある。しかし、競技レベルでの指導技術が不足しており、更なる向上を目指している。一部、国際大会での入賞者がいるものの、全体的なレベルアップ、選手層の充実、裾野拡大等の今後の課題も多く、本要請に至った。多くのコーチは日本人柔道家による指導、本邦(講道館)研修を受講している。日本人や日本人ボランティアに対する理解は十分あり、且つモチベーションも高い。豊富な競技経験に基づく技術指導はもとより、日本人の精神面での育成を求めている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

チュニジア柔道連盟の地方支部において、以下の活動を行う。

- ・「心技体」を体現する柔道家を育成する。
- ・同僚コーチと共に、ナショナルチーム(強化選手)の候補となるシニアレベル(青帯～黒帯、12-18人、60人、女性が多い)の選手の育成、強化に取り組む。
- ・同僚コーチ、選手に対し、基本技、連携技などを模範指導し、選手の競技技術の向上、およびコーチの指導技術の向上を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道畳等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 40代の女性コーチ、他にも約10名のコーチがいる。

活動対象者: 60名の生徒がエリート養成コースに選抜されている。同地区では約800名が柔道クラブに所属しており、必要に応じ、他のクラブへの指導も期待されている。

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(柔道三段)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(競技経験) 備考：3段以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(5～45℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

【類似職種】